

with shinjuku

2026.6

149

TAKE FREE

性別にかかわらず、みんなが尊重し合い、その人らしく生きる。仕事も暮らしも楽しむ、あなたを応援する情報誌です。

特集講演

コラムニスト

ジェーン・スー

特集記事

令和7年度

男女共同参画フォーラム

（無意識の思い込み）

「アンコンシャス・バイアスを知って、
少しでも生きやすく」

ワーク・ライフ・バランス推進優良企業表彰
ワーク・ライフ・バランス推進企業認定制度
新しく認定されたワーク・ライフ・バランス推進企業

《講座レポート》

男女共同参画の推進と多様性を
みとめあう
社会づくりのために講座を実施しています

《INFORMATION》

- ・新宿区の子どもショートステイ協力家庭になりませんか？
- ・6月23日～29日は男女共同参画週間です
- ・ウィズ新宿 BOOK CLUB
- ・ウィズ新宿と区民団体との連携講座公募
- ・これから開講予定の講座
- ・『ウィズ新宿』編集委員会がスタート



令和7年度

男女共同参画 フォーラム

開催日

令和8年 2月21日(土)

会場

四谷区民ホール

内容

オープニング

なんくるエイサー

第1部

ワーク・ライフ・バランス
推進優良企業表彰式

第2部

講演 ジェーシ・スー
「アンコンシャス・バイアス
(無意識の思い込み)を知って、
少しでも生きやすく」

区では男女共に活躍できる社会づくりへの意識を高める催しとして、公募で選ばれた区民による実行委員会と区が協働で、「男女共同参画フォーラム」を開催しています。第22回男女共同参画フォーラムの様子を、一部抜粋してお届けします。

オープニング

創作エイサー団体の「なんくるエイサー」に演舞を披露していただきました。力強い太鼓のリズムと息の合った動きに、エイサーの本場である沖縄の雰囲気を感じられ、明るく元気なパフォーマンスで会場を盛り上げました。会場の皆さんからは「演者の笑顔、音楽から元気をもらった」「エネルギーが伝わりました」「新宿エイサーまつりに行ってみようと思いました」などの声を寄せていただきました。



第1部

ワーク・ライフ・バランス 推進優良企業表彰式

ワーク・ライフ・バランスとは、「仕事と生活の調和」を意味する言葉です。新宿区ではワーク・ライフ・バランスの実現に取り組む企業の認定を行っています。令和7年度は、その中から特に優れた取り組みを行っている区内企業3社に、古住健一区長から表彰状と表彰楯が贈られました。各企業の表彰の内容などは、6ページをご覧ください。



講演 ジェーン・スー

「アンコンシャス・バイアス（無意識の思い込み）を知って、少しでも生きやすく」

コラムニスト、ラジオパーソナリティのジェーン・スーさんを講演者に迎え、生活の中に入り込む思い込みについて、分かりやすくお話しいただきました。

無意識の思い込みとは？

無意識の思い込みとはいったい何なのか。まず、性別によって分担された固定的な役割、これはジェンダー・バイアスですね。「この仕事は女には任せられないな」とか「男は責任のある仕事をしてなんぼだ」みたいに、「〜のくせに」というもの。

また、年齢による偏見、高齢者は「時代劇が好き」とか、「インターネットリテラシーがない」とか。ある方もいらつしやるんですよね。ない前提で話すとトラブったりする。「若者だから感性が鋭い」というのもエイジズムにつながる場所ですね。

あとは、属性による決めつけ。体育会系は「根性がある」、女子大出身だ

から「華やか」だとか、「おしとやか」だとか。傾向として体育会系の人に根性があるということはあるかもしれませんが。でも、根性があるから体育会系だということではないのです。近頃は、この繊細な違いを丁寧に考えようというようになってきています。

私らしさって難しい

一方で、「らしさ」という言葉。いわゆる性別や年齢、属性とは関係ないものはず。辞書で引くと『そのものの特徴がよく出ていること。』ではここに「私」を当てはめてみましょう。私の特徴がよく出ていること。私が誰で、何であるかを表す性質や条件。私が持つほかと異なる独自性、固有性。これが「私らしさ」であり、私が私であることを表すさまざまな特性ということなのです。

私らしく生きるといえるのは、ありのまま、自然体、他者の価値観に流されず、「私」の性格や価値観を尊重している状態で生活することだと思えます。ただ、これが難しい。私らしい自分であっても、生きていく上で何ら問題がないと思えること。ここにさっきのバイアスたちがふわーっと入って「自分らしさ」に属性で勝手に決めら

れた「らしさ」が重く覆いかぶさってくるんです。

無意識の思い込みがあると、他者と自分に私らしく生きていくことを許せなくなります。自分が抑圧されている被害者意識みたいなものが、「俺はこんなに我慢して頑張っているのに」「私はお母さんらしさを全うしているのに」「そこからはみ出ている人がいる、許せない、みたいになつていくわけです」。

自信の定義を変えよう

多様性の時代と言われています。絶対的正確がない時代なんです。「これさえやっていればいい」が無くなって、時代の変化を捉えつつ自分自身の幸せは何かを、考え続けて更新しなくてはいけないから、めちゃくちゃ面倒く



講演者

コラムニスト・ラジオパーソナリティ

ジェーン・スーさん

Profile

1973年東京生まれの日本人。
TBSラジオ「ジェーン・スー 生活は踊る」(毎週月～木曜11:00～)のメインパーソナリティを担当。
また、ポッドキャスト番組「ジェーン・スーと堀井美香のOVER THE SUN」(毎週金曜17:00)を配信中。
『貴様いつまで女子でいるつもりだ問題』(幻冬舎)で、第31回・講談社エッセイ賞を受賞。
近著に『介護未満の父に起きたこと』(新潮新書)、『ねえ、ろうそく多すぎて誕生日ケーキ燃えてるんだけど』(光文社)など多数。

さい。時代の変化で経済が変わり、男女の役割、家族の概念が変わりました。にもかかわらず、我々の自己理解の判断軸は旧来型の価値観のまま。そうすると自己否定で自信が持てなくなります。自己受容するために、認識のアップデートが必要となるのです。自信のある人を思い浮かべてください。他者の意見に振り回されず、「私はこれが正しいと思います」と根拠を持って言える人。これをアップデートします。自信のある人は、「うまくいったり、いかなかったりするけど『それでも私は上出来だ』と自己受容している状態の人」です。自信って失敗したところから立ち直ったときにもつくんですよ。何度もやれば自信はつくし、うまくいなくても「それでも大丈夫」と思えるようになります。料理に

例えると、失敗しても『目玉焼き失敗しちゃった、ウケる』くらいの余裕が生まれるわけです。

普通って言っているのかな

20歳の頃に思い描いていた私の未来は、30歳前後で結婚し、子どもは2人くらい、家を買って、会社員として働いて、結婚したら仕事のペースを落とし、親からの相続があると思っていました。当時はこれが一般的でした。で、私の現実ですが、52歳で未婚、子どもいません。家は賃貸、ほぼ個人事業主、仕事のペースはどんどん忙しくなっていて、親は無一文です。全部逆でいきました。じゃあ、これが不幸かというと、そうではなく、とても私らしいと思います。この「私らしい」が大切なんです。ここで私が「いえ、私は子どもの一人も産んだこともないので」とか、「家も賃貸ですし」とか言っていたら、自己受容できていない人を周りだけが受容するって、無理がある。「今の自分を私らしい」「私はこれで問題ないよ」というふうに、自分の思考を変えていく癖をつけていきたいですね。

子どもが語る壮大な夢に「普通の仕

事でいいの」とか、親の言いがちな普通って何でしょう。おそらく、ある程度の幸せを約束してくれる形だったのですよ、昔は。でも、私は疑問に思います。私たちの普通って、とても恣意的に作られてきていると思うからです。

刷り込まれた理想像と男女間の乖離

昭和生まれの皆さんが、初めて触れた伝記に出てくる女性たちのイメージは「忍耐、努力、克服」とか、「ケア労働や無償の愛」それが女性だったわけです。ナイチンゲール、近代医療統計学の始祖といわれていて、数字とデータによって示した点でも、画期的な革



新をしました。多くの兵士が戦傷そのものではなく、衛生状態の悪さや十分なケアにより亡くなっていることを発見し、改善することで、傷病兵の死亡率を劇的に下げたんです。ヘレン・ケラーは社会活動家になったんですね。女性参政権、労働者の権利、世界平和活動など公民権運動や公益活動を盛んに行っていました。こういう習い方をしていたら普通を概念として全くと変わっていたと思うのです。女性として「こうあるべき」って、思った以上に刷り込まれているのです。

この時男子はコロンブスとナポレオンを読んでいました。つまり、侵略を冒険と教わっていたんです。人もの奪ってでも、新しいものを獲得していくことを良しとされる伝記を読む男子と、誰かをケアして、奉仕して、支えていくのが女性のあるべき姿という伝記を読む女子は、小学校の時点で刷り込まれ、乖離させられていたんです。これが思い込みの偏見です。

思い込みを外すために

アップデートしていくのに重要なポイントとは、①自分の普通を疑う。②性別と社会の役割を紐づけしない。③誰

にとっても快適な居場所をつくる努力をする。④自分の価値観を更新し続ける。⑤自分自身が変わることを恐れない。そして、⑥幸せの形を他者に決めつけさせない。⑦他者の幸せを勝手に決めつけない。そうやって、選択肢が複数ある社会にする。

そして、「私は私らしくてOK」というふうに思うためには、自己受容が必要で、自分で「NO」という練習が必要です。「NOという練習」は、「断罪しない練習」とセットです。人のことを決めつけて断罪しない。一回無くしたものを取り戻すのは大変なので、公の場で他者を断罪しないことです。

そして失敗を気にしない練習。「失敗を気にしない練習」は「できると信じる練習」とセットです。失敗を気に病むと前に進めなくなるので、「次、うまくやろう」と思うように、これも考え方を変えていく訓練ですね。

「変化を恐れない練習」は「未来を怖がらない練習」と一緒です。「べき」は外から刷り込まれたものだということとを忘れないようにすると、それだけで私たちの無意識の思い込みは外れていくでしょう。皆さん是非、ご家庭に帰っていろいろと考えてみていただければありがたいです。

フォーラム実行委員からの一言

区内中学校に勤務しており、男女共同参画の視点から「生徒はもちろん、教職員にとっても過ごしやすい学校」について考えたいと、実行委員に立候補しました。実行委員のメンバーは年齢もこれまでの経験もさまざま、おのおのの立場から意見を出し合い共有して、フォーラムのテーマや講師を決めました。フォーラムでは無意識の思い込みを見直すヒントが沢山ありました。学校現場で生かしていきます！（石井友保）

今回は、人気のジェーン・スーさんをお迎えすることができて、応募人数も多く、フォーラム参加者の熱量も凄かった。終わった過去とまだ起きていない未来のことは考えず、今を受け入れ精いっぱい生きていこうと思いました。今年も笑顔で胸を張ってフォーラムを後にされる参加者の姿を見て、一年間の活動の成果が出たことをうれしく思いました。（大原俊一）

ジェーン・スーさんの講演をとて楽しみにしておりました。明確で分かりやすく気分が晴れ晴れする内容でした。私自身分かってはいるのですが、気付いてみると無意識の思い込みはよくあることです。ジェーン・スーさんに振り払ってもらったこの機会、これからは無駄な思い込みをせず、身も心も軽くして生きていこうと感じております。（君塚礼子）

念願だったジェーン・スーさんの招聘がついに叶い、胸がいっぱいです。変えられない過去を嘆くのはムダ、幸せの形を他者に委ねない生きかた…。スーさんの言葉は、私が無意識に抱えるバイアスを鮮やかに解き放ってくれました。「失敗を気にしない練習」を積み重ね、変化を恐れず、自分自身をアップデートし続けたい。実行委員として、この勇気ある気付きを皆さんと共有できたことは一生の宝物です。（坂田静香）

ジェーン・スーさんの人気ぶりに初めての申込制になり不安などありましたが、一回一回の委員会で具体的にになっていく様子を聞くにつれ、大変さつつくり上げていく一体感を感じました。当日はスムーズに運び、無事故で終わり、参加者の方々の笑顔が何よりでした。委員長をはじめ新メンバーの熱意に触れ貴重な日々でした。スーさん最高でした。（富岡文子）

個性豊かな委員の皆さんと共に、楽しく取り組むことができました。大変人気のあるジェーン・スーさんに決まり期待が膨らみました。講演の中では、思い込みに気付き、違いを認め自分を大切にすることを学びました。参加の方々からも大変好評で、沢山の気付きや前向きになった、との感想をいただき、やりがいを感じました。（中村和子）

男女共同参画フォーラムが盛会で良かったです。初めての参加だったため、不安もありましたが、ベテランの皆さまに励まされ、楽しく仕事できたのは感激でした。メンバーの講演者に対する熱意・思い入れを感じる場面が多々あり、そのような気持ちと事務局の方々の周到な準備があつての好評だったと思います。今後もオープンに議論して準備を進めていき、男女共同参画の意識を深めていければ良いと考えます。（藤井明）

今年度の講演会が大盛況に終了し、本当に嬉しく思っております。時代に合った講演が必要と今回はしみじみと感じました。ジェーン・スーさんがそれをきちんと証明して下さいました。これからも時代に合った講演会を開催していきたいです。（藤野美千代）

男女共同参画社会を実現するため、人権意識を大切にすることを目的に活動している場所で、今回ジェーン・スーさんの講演が実現できて本当に良かったです。誰もが、自分らしくありのままの姿で生きやすい社会になることを願い、活動していますが、今回も多くの学びと素晴らしい人たちに出会えたことに感謝します。（金長のぶ子）





ワーク・ライフ・バランス 推進優良企業を表彰しました

ワーク・ライフ・バランスアイディア賞

独自の取り組みを行い、実績のある企業

NEXCO中日本サービス 株式会社 東京本社

所在地 | 新宿区西新宿一丁目8番1号
新宿ビルディング8階
代表者 | 代表取締役社長 伊東 要
事業 | 人材派遣、用地・敷地管理事業など
従業員 | 東京本社447名(男109名、女338名)
ホームページ | <https://c-nexco-svc.jp>
※令和7年12月1日現在



全社員に配布した「Work & Life ガイドブック」

表彰のポイント

①ダイバーシティと健康経営の理解を促進

生理休暇の見直しに向けて体験型の研修を実施することで、「生理」の正しい知識を学ぶ取り組みを行っている。話題にしやすいテーマを男女が一緒になって話し合い、性別を超えた思いやりが生まれる良い機会になった。

②ガイドブックで制度周知

育児休業制度や介護休業制度などを分かりやすく活用できるよう、概要や手続きに関する内容を記載した「Work & Life ガイドブック」を作成し、従業員全員に配布している。

性別にかかわらず、育児休業の取得や両立支援に対する理解が進んでいるほか、取得者の体験を通じて、制度がほかの社員にも広く知られるようになっている。

従業員の声

「Work & Life ガイドブック」は、育児・介護などの制度や取得方法について分かりやすくまとめられており、とても重宝しています。また、会社で開催された介護セミナーに参加し、介護に関する情報を事前に知ることができたのでありがたかったです。メンタルヘルスの相談窓口なども充実しており、安心して働ける環境が整っていると感じます。

ワーク・ライフ・バランスアイディア賞

独自の取り組みを行い、実績のある企業

株式会社エイル

所在地 | 新宿区西早稲田二丁目21番16号
高田馬場EKKビル3階
代表者 | 代表取締役社長 吾妻 広正
事業 | 橋梁設計
従業員 | 30名(男19名、女11名)
ホームページ | <https://www.eile.co.jp>
※令和7年12月27日現在



家族を含めた社員旅行

表彰のポイント

①社長の信念が反映したWLB推進

「社員とその家族の健康が一番」という強い信念のもと、従業員の健康と幸福を最優先に据えた経営を実践している。人間ドックや婦人科検診、インフルエンザ予防接種にかかる費用などの補助を行うことにより、長期的な人材育成と持続的成長を目指している。

②従業員満足度向上のための取り組み

残業削減や有給取得促進などの働き方改革を実践するため、一週間における受発注者間相互の取り決め(ウィークリースタンス)を定め、金曜日の会議禁止や月曜日期限の書類提出をなくすなどの取り組みを行っている。

従業員の声

テレワークやフレックスタイム制で柔軟に働けるのが魅力です。有給休暇の取得も、推奨日があるので取りやすく、働きやすさを実感しています。社内には「なんでも意見箱」があり、要望を気軽に伝えられる環境です。経営層との距離が近い職場ならではの実行スピードの速さも、やりがいにつながっています。

新菱冷熱工業株式会社

所在地 | 新宿区四谷一丁目6番1号
コモレ四谷・四谷タワー5階
代表者 | 代表取締役社長 加賀美 猛
事業 | 空調、電気、給排水衛生設備などの
設計・施工
従業員 | 2,199名(男1,969名、女230名)
ホームページ | <https://www.shinryo.com>
※令和7年9月30日現在



人を取り巻く環境を整備する活動「We Up!」推進メンバー

表彰のポイント

①継続して取り組むWLB推進

平成28年から進める「働き方さわやかProject(働き方改革)」や「チャレンジ45(時間外勤務の上限月45時間)」を、法令遵守と事業継続のための経営戦略として位置付けており、長時間労働の是正と従業員満足度向上を両立させる取り組みを継続して推進している。

②働きやすさと働きがいの向上

人を取り巻く環境を整備する活動「We Up!」を推進しており、3年連続ベースアップ、出産祝い金など、多数の制度を整備している。DXの推進などによって業務の効率化と生産性向上を図り、従業員の満足度調査で社員の声を聴きながら、働きやすさと働きがいを同時に向上させている。

従業員の声

「男性育休100%宣言」以降、社内に男性育休取得を推進する雰囲気生まれ、育休取得時にはスムーズに業務を引継ぐことができました。育休中は普段行う家事・育児に加え、妻の体調不良などにもしっかりと対応でき、家族との貴重な時間を共有できました。復帰後はテレワークを活用して育児をしています。上司や周囲のサポートもあり、安心して働くことができています。

ワーク・ライフ・バランスで社員も企業も元気に!!

ワーク・ライフ・バランスとは、個別の事情や希望に応じて、「仕事」と「仕事以外の生活」の調和が図られている状態を言います。

柔軟な働き方ができる環境を整備することは、個人のライフステージに応じた働き方ができるだけでなく、業務効率のアップや、優秀な人材が企業に定着するなどの効果が期待でき、企業の生産性向上に繋がると言われています。

問い合わせ先

新宿区子ども家庭部
男女共同参画課
TEL : 03(3341)0801
FAX : 03(3341)0740

ワーク・ライフ・バランス推進企業認定制度

新宿区では、国や他自治体に先駆けて平成19年度から「ワーク・ライフ・バランス推進企業認定制度」をスタートさせ、ワーク・ライフ・バランスに取り組んでいる企業、またこれから取り組みたいと考えている企業をサポートしています。取り組みを進めるため、コンサルタント派遣や関連するセミナーの開催などを行っています。



詳しくはこちら

2つの区分で認定

推進企業

取り組みが進んでいる企業

推進宣言企業

これから取り組んでいく企業



令和7年度に新しく認定された ワーク・ライフ・バランス推進企業を紹介します

ノザワ工業株式会社

所在地 | 新宿区水道町3番14号
代表者 | 代表取締役 森 敦彦
事業 | 水道工事、道路塗装工事
道路橋梁維持・補修工事
従業員 | 26名(男17名、女9名)
ホームページ | <https://www.nozawa-k.jp>

※令和8年5月8日現在

認定のポイント

- 育児取得実績100%で、男女問わず育児休業を取得しやすい。
- 3名の管理職のうち、女性が2名と女性が活躍できる環境が整っている。
- 定期的な面談により、相談しやすい環境づくりをしている。



ノザワ工業株式会社

株式会社フォー・ジェイ

所在地 | 新宿区新宿五丁目13番10号
上州屋ビル3階
代表者 | 代表取締役社長 栗原 美由紀
事業 | ソフト開発
システムエンジニアリングサービス
従業員 | 116名(男46名、女70名)
ホームページ | <https://four-j.com>

※令和8年5月1日現在

認定のポイント

- 仕事とプライベートの両立を推進し、クライアントにも両立に関する理解を求めるなど、従業員が働きやすい環境を整えている。
- 女性従業員の比率が高く、管理的役割を担っている女性従業員も多い。女性活躍のノウハウを持っている。



社内のコミュニケーションも大切にしています

パパサポート企業奨励金 介護サポート企業奨励金

育児休業・介護休業の取得を推進する 中小企業を応援します

主な申請資格など、詳しくは
区ホームページをご覧ください。 詳しくはこちら



● パパサポート企業奨励金 ●

▶ 育児休業コース

男性従業員の育児休業取得日数に応じて
最大40万円 支給(1回目20万円、2回目・3回目各10万円)

▶ 育児短時間勤務コース

男性従業員の育児短時間勤務制度利用に対して
1回につき**10万円** 支給



● 介護サポート企業奨励金 ●

▶ 介護休業コース

従業員の介護休業取得に対して
1回につき**15万円** 支給

▶ 介護短時間勤務コース

従業員の介護短時間勤務制度利用に対して
1回につき**10万円** 支給



株式会社コミュニケーション・コンパス

所在地 | 新宿区新宿二丁目5番12号
FORECAST新宿AVENUE 6階
代表者 | 代表取締役社長 伊藤 一徳
事業 | Webコンサルティング
従業員 | 30名(男17名、女13名)
ホームページ | <https://comcompass.co.jp>

※令和8年4月21日現在

認定のポイント

- 休憩時間を1時間から3時間の間で取得することができる制度(シエスタ制度)を設けており、テレワークやフレックス制度と組み合わせて、多様な勤務体制が組めるようになっている。
- 各種ハラスメントやメンタルヘルス対策に外部の専門家(弁護士・カウンセラー)を活用し、対応している。

com **munication**
pas's

デジタルコミュニケーションの羅針盤

男女共同参画の推進と 多様性をみとめあう社会づくりのために 講座を実施しています

新宿区立男女共同参画推進センター（ウィズ新宿）では、男女共同参画社会実現のために、さまざまなテーマで区民向け啓発講座を多数開催しています。今回は、令和7年度に実施した3つの講座をご紹介します。

働く女性応援講座

働く女性を支援するための講座です。

はじめてのプチ起業
～好きを仕事に～

対面講座

「好きなこと、得意なことを仕事にしたい」「空いた時間でお金を稼ぎたい」など、起業についての講話をしていただきました。起業するときに大変だったことなどの体験談を伺い、参加者の声も「事業コンセプトをハッキリさせよう」「子育て中でもひるまずに一步を踏み出します」といった、次のステップへつなげたいという意志が伝わってくる内容でした。



講師：大森 渚氏

若者応援講座

若者を対象に、男女共同参画社会の必要性についての意識を深めることを目的とした講座です。

初めてのアサーティブトレーニング
～自分も相手も尊重したコミュニケーション～

対面講座

一方的に自分の気持ちや意見を言うのではなく、相手の気持ちを尊重しつつ、必要なこと、どうして伝えたいのかなどを適切に表現することで、コミュニケーション力を学ぶ講座でした。講座を受けた方たちは「内容が具体的で自分も早速やってみようと思いました」「明日からの生活が前向きになれそう」などの感想が寄せられました。



講師：里見 さとみ氏

DV防止啓発講座

配偶者等からの暴力に関する正しい知識や理解を促進するための講座です。

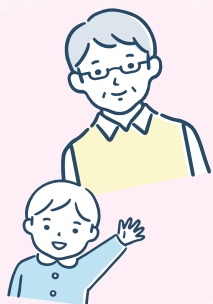
DVから抜け出すステップ
～あなたを守る法的知識と行動～

オンライン講座

離婚やDV被害者の支援に関する専門知識を持つ弁護士から、適切な法的処置の選択肢や、具体的な行動を分かりやすく解説いただきました。パートナーと一緒にいるのがつらいけど、離れるのは無理だと思っている方が、一步踏み出すために必要なことを学べる講座になっており、「気付かされることが多くあった」「支援の考え方なども学べた」と満足度も高い講座でした。



講師：山崎 新氏



新宿区の子どもショートステイ 協力家庭 になりませんか？



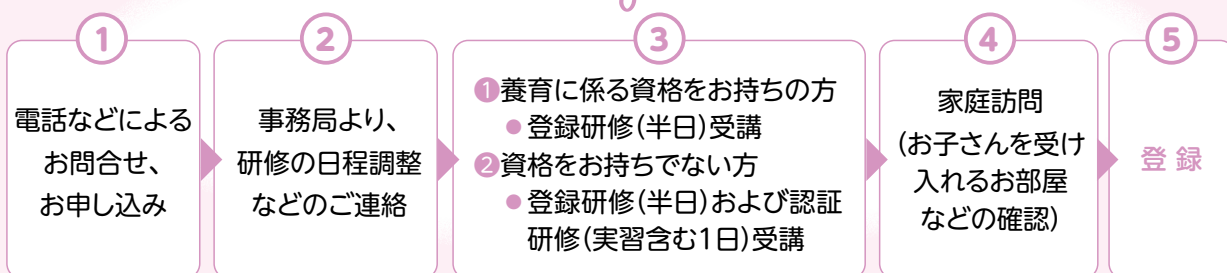
協力家庭での 子どもショートステイとは

保護者の入院、出産、介護、出張、育児疲れなどで、昼夜を通してお子さんを養育する方がいないときに、区内のご家庭（協力家庭）でお預かりする制度です。協力家庭には養育費が支払われます。

どんな人がなれますか？

区内在住の方で
18歳以上の同居人がいる方
(研修を受ける必要があります)

協力家庭登録までの流れ



対象のお子さんは？



区内在住の生後60日から
18歳未満のお子さん
(協力家庭には主に3歳以上の
お子さんをお願いしています)

どんなことをしますか？

保育園、小学校などへの送迎や、食事や
外出をするなど、ご家族の一員として生活
をともにしながら、お子さんに合わせた遊
びや学習の支援をしていただいています。

お問合せ先

新宿区立子ども総合センター
子ども相談支援課事業係
☎03(3232)8865
※午後5時～10時にお預かりする
トワイライトステイ協力家庭も
あわせて募集しています。

協力家庭さん からの 声



我が家の末っ子は、妹ができたようにお世話をしていました。

大人ばかりの生活が、久しぶりににぎやかになりました。

預かっているお子さんの保育園に迎えに行ったところ「もっと早く迎えに来て。早くお家で遊びたいから」と言われて嬉しかった！

仕事一筋だった夫が、リタイア後に協力家庭をしていると、こんなにも子ども好きだったのかと発見があった。

6月23日～29日は男女共同参画週間です



あなたらしさが、社会のチカラ

(令和8年度内閣府・男女共同参画週間キャッチフレーズ)

全ての人が職場で、学校で、地域で、家庭で、それぞれの個性と能力を発揮できる「男女共同参画社会」を実現するためには、政府や地方公共団体だけでなく、一人ひとりの取り組みが必要です。「男女共同参画」について、この機会に考えてみませんか。

男女共同参画週間とは

内閣府男女共同参画推進本部は、男女共同参画社会基本法の公布・施行日である平成11年6月23日を踏まえ、毎年6月23日から29日までの1週間を「男女共同参画週間」として、さまざまな取り組みを通じて、男女共同参画社会基本法の目的や理念について理解を深めることを目指しています。

ウィズ新宿 BOOK CLUB

ウィズ新宿に所蔵している書籍をご紹介します。

興味の湧いた本がありましたらぜひ手に取ってみてください。

映画じゃないんだから、うまくいなくても大丈夫。

【著者】ジェーン・スー 高橋芳朗

【発行】ポプラ社

【初版】2025年4月

ラブコメ映画をこよなく愛するふたりが、「プラダを着た悪魔」、「プリティ・ウーマン」など、「明日もがんばろう」と前向きな気持ちになるおすすめの映画について語り合った一冊。読めばまだ見ていない映画も、つい見たくになります。巻末にラブコメ映画カタログも掲載。



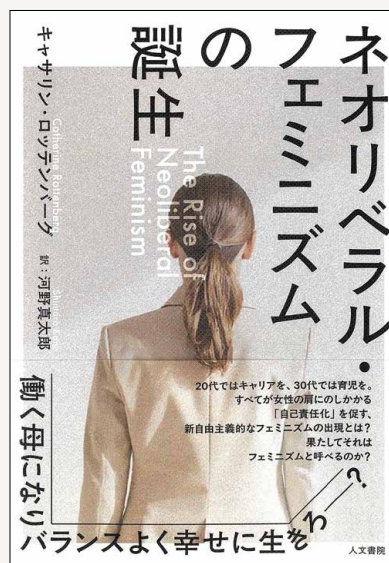
ネオリベラル・フェミニズムの誕生

【著者】キャサリン・ロッテンバーグ

【発行】人文書院

【初版】2025年6月

「女性たちよ、働く母になり、バランスよく幸せに生きる……？」ロンドン大学教授が、Meta (旧Facebook) の元COOやイヴァンカ・トランプによるエッセイ、マミー・ブログ、ドラマなどをてがかりに、アメリカのフェミニズムのいまを映し出した待望の邦訳。



ウィズ新宿と区民団体との連携講座

男女共同参画をテーマに区と協働で講座を企画してみませんか

募集期間

令和8年
12月11日(金)
まで

区と連携して講座の企画運営をする団体を公募します。

区内で活動している団体の企画で、次の全てに該当する講座に限りです。

- ▶ 令和9年3月23日(火)までに対面またはYouTube配信などのオンラインで実施
- ▶ 男女共同参画をテーマとする
- ▶ 団体の構成員以外も受講できる
- ▶ 営利・宗教・政治目的ではなく、受講料を徴収しない

【団体のメリット】

- ① 講師謝礼は区が負担
(※区の基準上限額まで)
- ② 区広報などに講座の案内を掲載
- ③ 団体が作ったチラシを、出張所や図書館などの区施設に配架

詳しくは、区のホームページからチラシ(応募要項)をダウンロードするか、
男女共同参画課 ☎03(3341)0801 までお問い合わせください。
http://www.city.shinjuku.lg.jp/kusei/danjo01_001057.html



これから開講予定の講座

オンライン講座

- 広告の中のジェンダー観

「男らしさ」はどこからきたの?

配信期間: 7月15日(水)～8月12日(水)

講師: 小林 美香氏

(ライター、東京造形大学・九州大学非常勤講師)

- 思春期からの男女の健康を考える

～プレコンセプションケア～

配信期間: 7月25日(土)～8月21日(金)

講師: 山本 智美氏

(助産師、聖母病院看護部長、日本助産師会副会長)

対面講座

- 教えて、ちい先生! パパとつくる工作教室

日時: 8月1日(土)午前10時～12時

会場: 男女共同参画推進センター(ウィズ新宿)3階会議室

講師: 井上 智陽氏(イラストレーター・手作りおもちゃ講師)



内容・申込方法等詳しくは、
区ホームページをご覧ください。

令和8年度

『ウィズ新宿』編集委員会が
スタートしました

新宿区では、公募の中から選ばれた区民の編集委員と区の協働で、年間1回『ウィズ新宿』を発行しています。5月には5名の委員が2日間の編集講座で編集の基礎や男女共同参画について学びました。6月からは次号150号(令和8年12月発行予定)に向けて、編集会議を重ねながら記事を執筆していきます。どうぞご期待ください。



編集講座の様子

編集後記

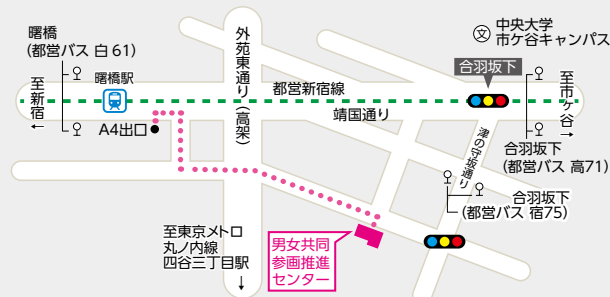
今号は、令和7年度男女共同参画フォーラムで行ったジェーン・スーさんの講演を中心にお届けしました。講演では、気付かぬうちに抱えていた思い込みをそっと外し、「今」を大切に生きる視点を与えてくれました。失敗や変化を恐れず、自分らしさを更新し続けながら、誰もが軽やかに生きられる社会となることを願いたいと思います。



発行 | 新宿区子ども家庭部男女共同参画課
新宿区立男女共同参画推進センター
〒160-0007 東京都新宿区荒木町16番地
TEL:03(3341)0801 FAX:03(3341)0740

発行日 | 令和8年6月26日

この印刷物は再生紙を使用しています。



駐車場・駐輪場はありませんので、公共交通機関をご利用ください。